

本 社	〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-9-4 西野金陵ビル4F	TEL. 03 (4321) 0150 (代表)	FAX. 03 (4321) 0149
関 東 支 社	〒104-0042 東京都中央区入船 2-3-7 築地エー・アイ・ユービル1F	TEL. 03 (3553) 2080	FAX. 03 (3553) 2081
東 京 支 店	〒104-0042 東京都中央区入船 2-3-7 築地エー・アイ・ユービル1F	TEL. 03 (3553) 2080	FAX. 03 (3553) 2081
埼 玉 営 業 所	〒351-0111 埼玉県和光市新倉 5-9-22	TEL. 048 (450) 3950	FAX. 048 (466) 4313
松 本 出 張 所	〒390-0814 長野県松本市本庄 1-2-16 YMマンション1F	TEL. 0263 (38) 3115	FAX. 0263 (38) 3116
大 阪 支 店	〒564-0044 大阪府吹田市南金田 2-5-12	TEL. 06 (6387) 1104	FAX. 06 (6387) 3241
北 海 道 営 業 所	〒004-0053 北海道札幌市厚別区厚別中央三条 5-7-25	TEL. 011 (796) 8255	FAX. 011 (796) 8256
東 北 営 業 所	〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井 6-4-1	TEL. 022 (288) 3112	FAX. 022 (288) 3113
中 部 営 業 所	〒463-0072 愛知県名古屋市中区金屋 2-191-1	TEL. 052 (799) 5230	FAX. 052 (799) 5231
広 島 営 業 所	〒733-0032 広島県広島市西区東観音町 25-3	TEL. 082 (233) 9351	FAX. 082 (233) 9357
九 州 営 業 所	〒813-0032 福岡県福岡市東区土井 2-24-10	TEL. 092 (719) 1252	FAX. 092 (719) 1253
南九州営業所	〒899-5651 鹿児島県始良市脇元627-3	TEL. 0995 (73) 7817	FAX. 0995 (73) 7818
㈱日本ウォーターシステム四国	〒760-0052 香川県高松市瓦町 2-7-14 フォルテ瓦町駅前ビル6F	TEL. 087 (832) 5771	FAX. 087 (832) 5772
㈱タングラム	〒421-0412 静岡県牧之原市坂部 110-5	TEL. 0548 (29) 0421	FAX. 0548 (25) 0010

透 析 用 水 作 製 装 置

JWR
JWR SERIES



Reborn

生まれ変わりました。

JWR シリーズは、
お客様のニーズにお応えするため、
従来シリーズの技術と IoT 技術の融合により、
新たに生まれ変わりました。





HIGH QUALITY
【高性能／高品質】

TECHNOLOGY
【DX 多機能化】

INTEGRATION
【機種統合】

EASY OPERATION
【作業効率化】

ECONOMY
【節水／節電】

ECOLOGY
【自然環境保全】

CUSTOMIZE
【カスタマイズ】



Customize Grade up

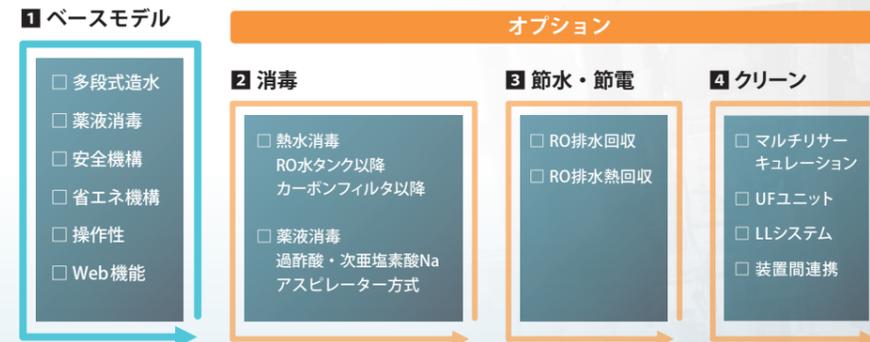


1 Base model

ベースモデル

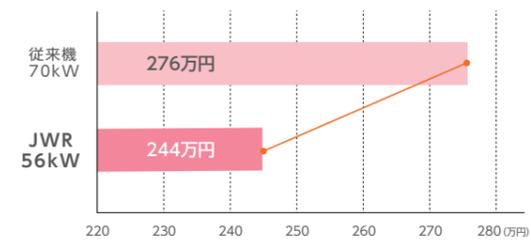
新シリーズでは高性能な機能を標準搭載。
多彩なオプションをカスタマイズすることで
ハイクオリティな装置を実現できます。

ラインアップ



省エネ機構（節電効果）

〈一例〉ヒータ電力（ピーク）抑制による年間電気料金の削減例



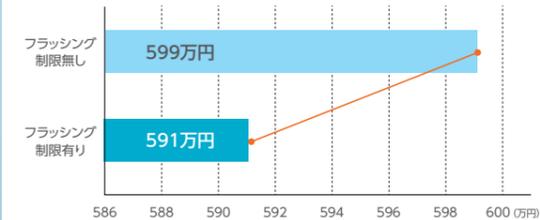
＜試算条件＞
●ベッド数：50床 ●洗浄時間：計3時間/日
●年間稼働日数：312日 ●電気料金：31円/kWh
●透析治療時間：計10時間(2クール)/日
●公益社団法人 全国家庭電気製品公正取引協議会の電気料金目安より
●月間平均水道：令和2年度東京水道局データより試算
●機種：JWR2100 オプションなし 回収率70%

さらに、ピーク電力量の抑制で、契約料金の低減に貢献します。

*施設により契約料金は異なります。
*当社試算条件による試算のため、実際の削減額と異なる場合がございます。
*試算機種JWR2100と同スペック(標準流量、回収率)の従来機との比較です。

省エネ機構（節水効果）

〈一例〉フラッシング制限効果による年間水道料金の削減例



＜試算条件＞
●ベッド数：50床 ●透析治療時間：計10時間(2クール)/日 ●フラッシング制限「あり」設定：1回/60分
●年間稼働日数：312日 ●RO造水流量：25~40L/min 造水可変方式 ●水道料金：600円/m³
●洗浄時間：計3時間/日 ●フラッシング量：30L/min×1min=30L/回

*機種：JWR2100 オプションなし 回収率70%
*当社試算条件による試算のため、実際の削減額と異なる場合がございます。

イージーオペレーションで作業効率アップ

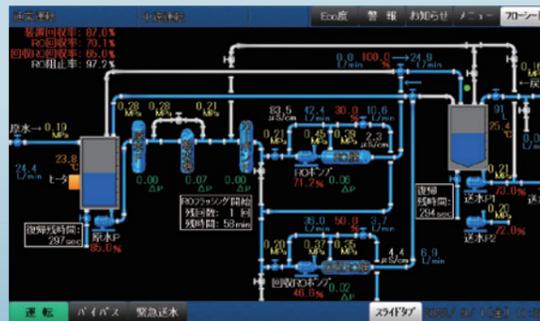
従来アナログ的な確認や操作が必要でしたが、操作性や安全性に配慮した機能を搭載。

安全機構／操作スイッチの復帰



【特徴】 操作スイッチを初期設定から読み出し、一括で元に戻せます。

安全機構／操作スイッチの復帰



【特徴】 原水タンク／RO水タンクドレインMVの操作スイッチが自動以外の場合、一定時間経過すると操作スイッチが自動的に戻ります。

便利機能／採水モード



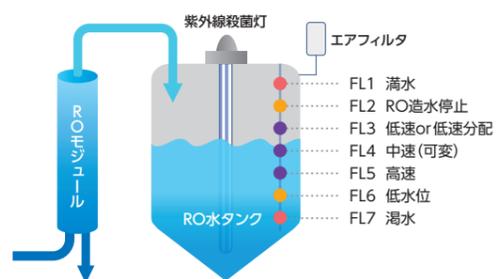
【特徴】 <採水>モードは、RO原水（前処理水）中の残留総塩素、硬度をチェックする為のサンプル水を採水するモードです。<採水モード>が開始されると、原水ポンプが運転し、自動フラッシングMVが開き、前処理水ラインに原水が通水されます。

操作性／運転時間ウィークリータイムチャート



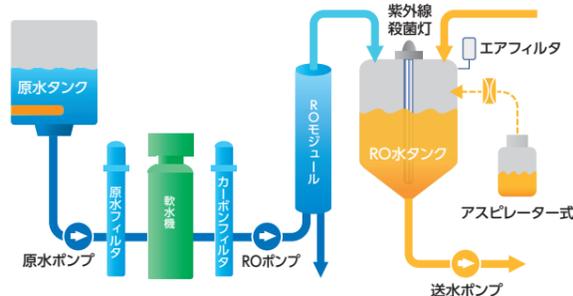
【特徴】 週間のチャート&曜日ごとのチャートを表示します。

多段式造水運転



造水可変システムにより止まりにくい造水運転を実現

全自動薬液消毒システム



標準でRO水タンク以降全自動薬液消毒を搭載
過酢酸・次亜塩素酸ナトリウムの選択が可能

透析遅延「ゼロ」を目指す J-Connection 情報管理システム

Web機能「J-モニター」を一新し、新サービス「J-Connection」を搭載。警報機能や点検機能がより充実し、業務をサポートいたします。運転状態の見える化をIoTで実現。

J-Connection 《Web機能 ①》

警報発生時、詳細内容をメールでお知らせします。また、メールに気付いてもらえるようお電話(自動音声)で警報の通知を可能としました。

- 1 発生時刻 …警報発生時の時刻を表示
- 2 警報内容 …RO装置の各警報&外部接続機器異常警報を表示
- 3 装置状況 …RO装置の状態を表示(継続/停止)
- 4 運転モード …発令時点での各運転を表示(通常/夜間/軟水再生/消毒など)
- 5 工程 …運転時の工程を表示
- 6 運転データ …警報発生時点での各詳細データを添付



J-Connection 《Web機能 ②》

院外からJ-Connectionにアクセスし、装置の運転状況を確認することができます。休日や夜間の軟水再生や消毒が正常動作しているか、又、断水や停電が懸念される場合にアクセスしていただくことで素早い判断をしていただけます。また、消耗品交換時のガイダンスを用意しており、交換の流れなどわかりやすくご案内できます。

※基本LTE回線を使用するため、装置を経由して院内情報には不正アクセスできません。



J-Connection 《Web機能 ③》

JWS社内ネットワークからより細かいデータを閲覧することができるためWeb点検を行えます。従来ではお伺いして点検でしたが点検時のコスト削減が可能となりますので、従来価格より安価な保守点検サービスをご提供いたします。

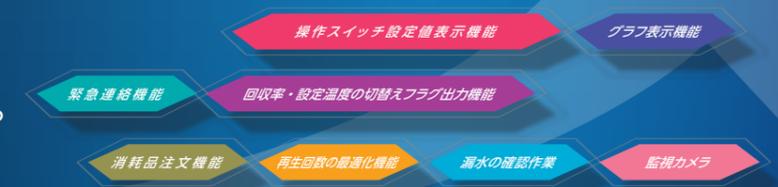


Customize Future

カスタマイズフューチャー

その先の未来へ

皆様のニーズにお応えし、システムを更なるグレードアップして参ります!

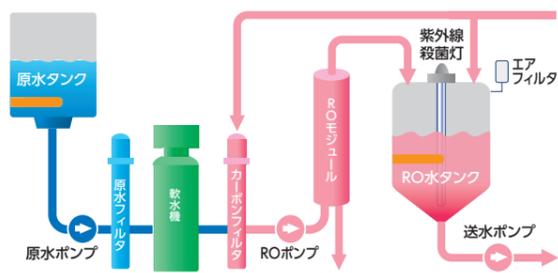


さらに進化した全自動消毒システム 熱水消毒・薬液消毒をラインアップ

熱水消毒システム

耐熱型RO膜を標準搭載。消毒効率の高い順次熱水消毒。消毒範囲をカーボンフィルタからRO膜へと順次切り替えていくことで、短時間に優れた消毒効果を発揮します。

■ カーボンフィルタ以降（熱水消毒）



広範囲熱水消毒により高いレベルで清浄度を維持
※耐熱用ROモジュール採用により透過水量が標準と異なります。

■ RO水タンク以降（熱水消毒）

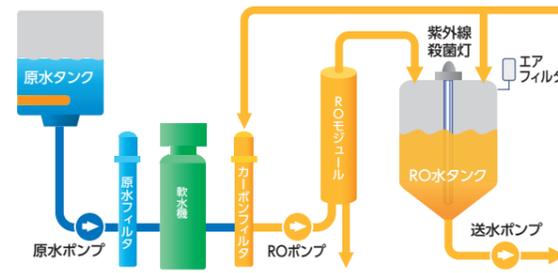


RO水タンク以降熱水消毒のみであるため、
ROモジュールは常温用の透過水量を作製可能

薬液消毒システム

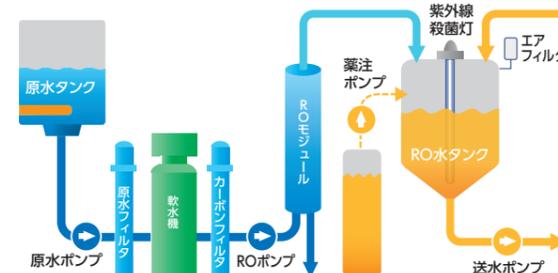
従来シリーズでは最大RO膜以降としていた薬液洗浄・消毒をカーボンフィルタ以降まで拡大。カーボンフィルタ内の清浄化を高めることでRO膜やUF膜への負担を軽減することができます。

■ カーボンフィルタ以降（薬液消毒）



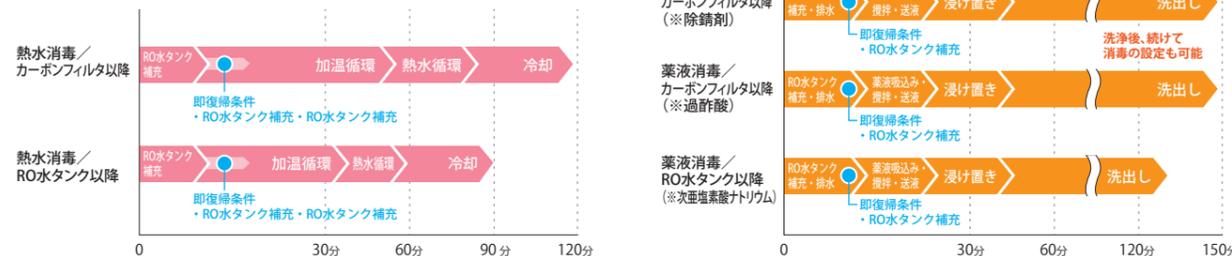
従来RO膜以降としていたエリアをカーボンフィルタまで拡大
消毒エリアが熱水消毒と同等になり清浄化が向上

■ RO水タンク以降（薬液消毒）



薬液注入式により、
薬液セットの頻度を低減可能

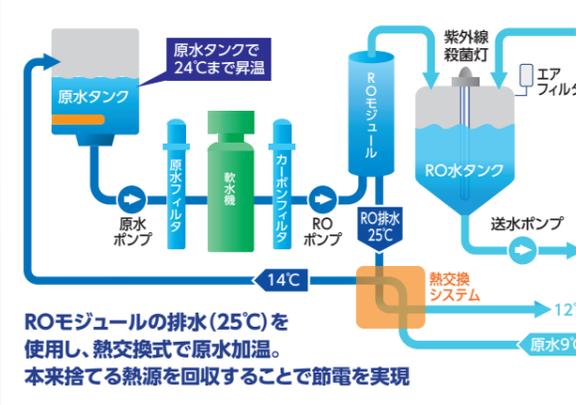
各消毒の工程時間



環境に配慮した 省エネ(節水・節電)対応システム

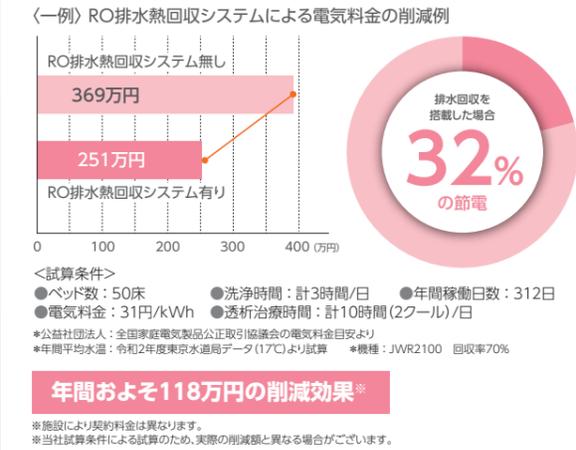
排水や排水熱を可能な限り再利用することで、水道光熱費の負担低減が可能。
システムの導入により、床数やクール数が多い施設様では効果を最大限発揮できます。

■ RO排水熱回収(HX)システム

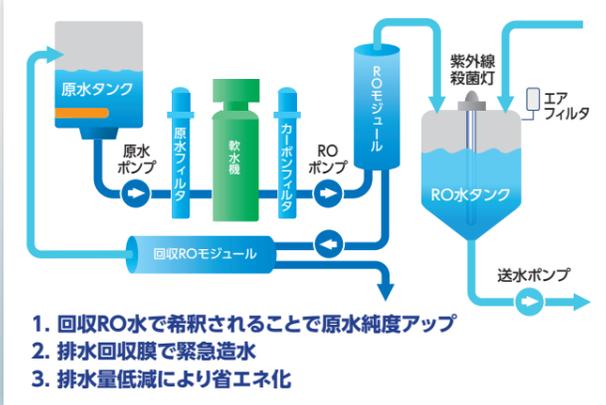


ROモジュールの排水(25°C)を使用し、熱交換式で原水加熱。
本来捨てる熱源を回収することで節電を実現

● 省エネ「節電」効果 (RO排水熱回収システム)

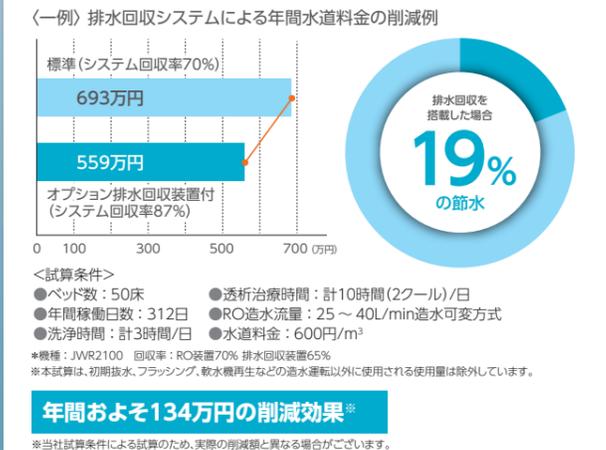


■ RO排水回収(CE)システム

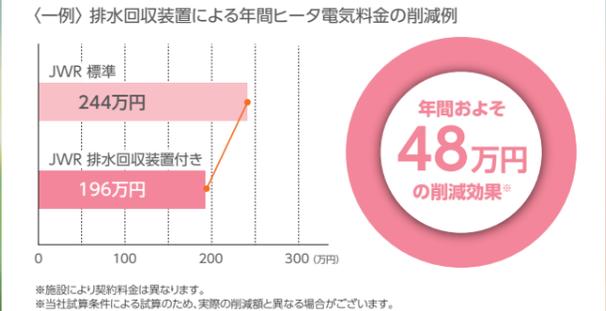


1. 回収RO水で希釈されることで原水純度アップ
2. 排水回収膜で緊急造水
3. 排水量低減により省エネ化

● 省エネ「節水」効果 (RO排水回収システム)



● 省エネ「節電」効果 (RO排水回収システム)

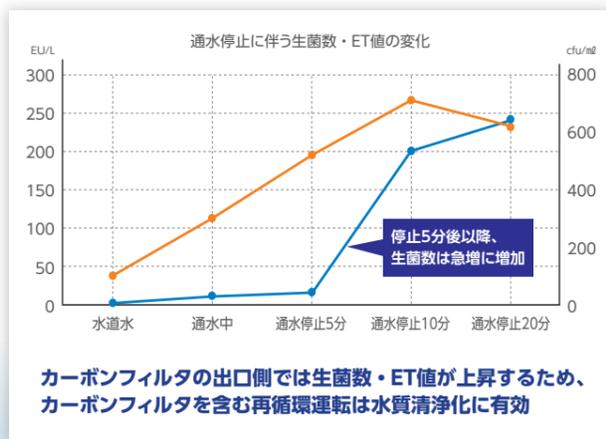
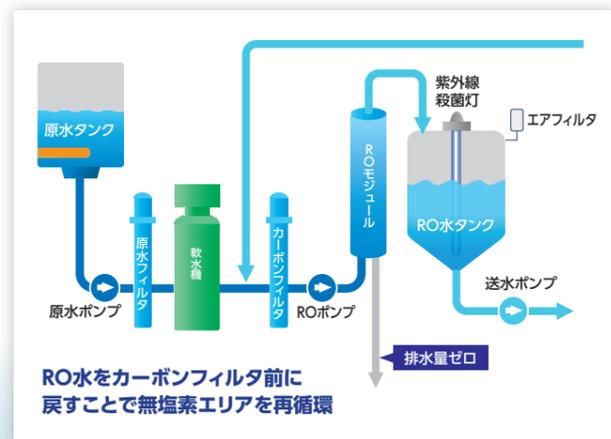


更なる清浄化へ

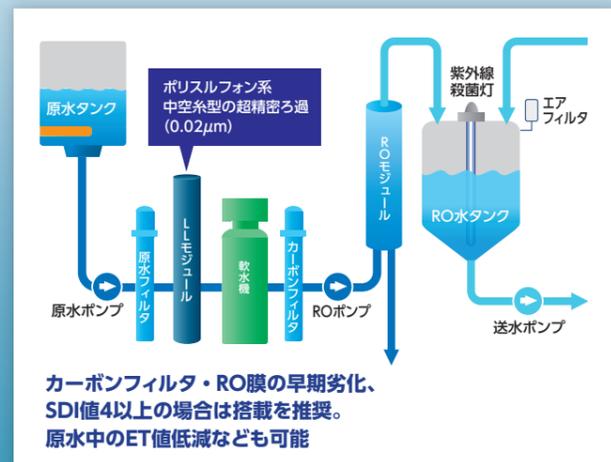
最高品質な清浄化を実現するためのシステムをラインアップ。



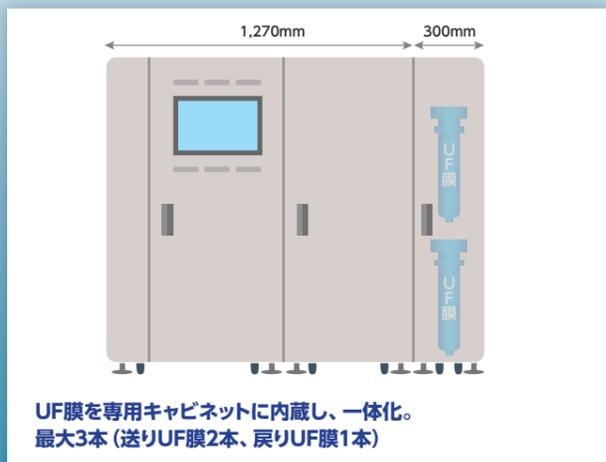
■ マルチリサーキュレーション



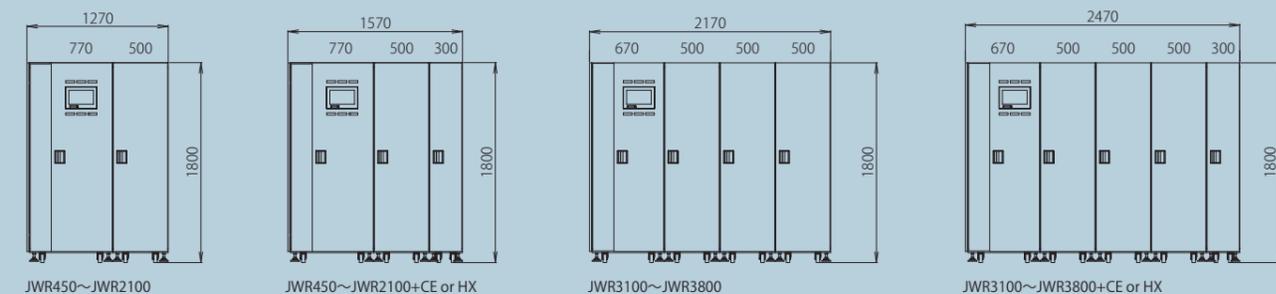
■ 前処理 LLシステム



■ 送水ライン UFユニット



●外形図



●標準仕様

型 式	JWR450	JWR680	JWR900	JWR1100	JWR2100	JWR3100	JWR3800	
透過水量 (L/hr)	加温時(25℃) 標準/最大							
ROモジュール (インチ)	常温膜							
ROモジュール (本)	2	3	4	1	2	3	4	
原水フィルタ (インチ×本)	ろ過精度10μ							
カーボンフィルタ (インチ×本) ^{※1}	30×1			30×3		30×5		
軟水装置樹脂量 (L)	42			60		90		
原水タンク (全容量/有効容量L)	83/41			169/83				
原水ポンプ (kW)	インバータ仕様			1.28		2.2		
ROポンプ (kW)	インバータ仕様			4.0		5.5		
送水ポンプ (kW×台)	インバータ仕様			0.74×2				
RO水タンク (全容量/有効容量L)	132/113					202/170		
紫外線殺菌灯 (W)	浸漬型							
寸法 (W×D×H)	1,270×1,020×1,800					2,170×1,020×1,800		
製品重量 (kg)	970	985	1,000	900	960	1,415	1,455	
運転重量 (kg)	1,290	1,310	1,340	1,270	1,450	2,195	2,255	
電源	制御用	定格消費電力 (kW)						1
	単相100V 50/60Hz	ブレーカ容量 (A×個)						15×1
	動力用 ^{※2}	定格消費電力 (kW)			6.76		9.18	
	三相200V 50/60Hz	ブレーカ容量 (A×個)			30×1		50×1	
	原水ヒータ用 ^{※3}	定格消費電力 (kW)			13	18	24	32
	三相200V 50/60Hz	ブレーカ容量 (A×個)			50×1	75×1	100×1	125×1
装置接続口径	原水/送水/排水			25A×1/ 20A×2/ 32A×1		32A×1/25A×2/32A×2		
原水加温方式	電気ヒータ方式、温水直投入方式、ボイラ循環方式、熱交換方式							

●オプションの熱水消毒 (カーボン、RO膜以降) を選択した場合の参考仕様

型 式	JWR750Q	JWR1500Q	JWR2100Q	JWR2700Q	
透過水量 (L/hr)	加温時(25℃) 標準/最大				
ROモジュール (インチ)	熱水膜				
ROモジュール (本)	1	2	3	4	
原水フィルタ (インチ×本)	ろ過精度10μ				
カーボンフィルタ (インチ×本) ^{※1}	30×3		30×5		
軟水装置樹脂量 (L)	60		90		
原水タンク (全容量/有効容量L)	83/41		169/83		
原水ポンプ (kW)	インバータ仕様		1.28		
ROポンプ (kW)	インバータ仕様		4.0		
送水ポンプ (kW×台)	インバータ仕様		0.74×2		
RO水タンク (全容量/有効容量L)	132/113		202/170		
紫外線殺菌灯 (W)	浸漬型				
寸法 (W×D×H)	オプションユニットなしの場合		1,270×1,020×1,800		
製品重量 (kg)	910	970	1,430	1,470	
運転重量 (kg)	1,280	1,460	2,210	2,270	
電源	制御用	定格消費電力 (kW)			1
	単相100V 50/60Hz	ブレーカ容量 (A×個)			15×1
	動力用 ^{※2}	定格消費電力 (kW)		6.76	
	三相200V 50/60Hz	ブレーカ容量 (A×個)		50×1	
	原水ヒータ用 ^{※3}	定格消費電力 (kW)		24	48
	三相200V 50/60Hz	ブレーカ容量 (A×個)		100×1	100×2
RO水消毒ヒータ用	定格消費電力 (kW)		16		
三相200V 50/60Hz	ブレーカ容量 (A×個)		60×1		
装置接続口径	原水/送水/排水		25A×1/20A×2/32A×1		
原水加温方式	電気ヒータ方式、温水直投入方式、ボイラ循環方式、熱交換方式				

注1 施設の水質によっては、本数アップが必要になる場合があります。本数アップする場合は、キャビネット幅もアップします。

注2 オプション機器(排水回収装置、加圧ポンプ、循環ポンプなど)が付加される場合、一時設備のブレーカ容量のアップが必要になる場合があります。なお、オプションポンプが付加された場合、別盤が追加になる場合があります。

注3 最大透過水量、標準回収率(70%)の場合の加温ヒータ容量です。最大透過水量や回収率によっては、容量変更が必要になる場合があります。

注4 原水ヒータ3系統目が別盤になります。

*本仕様は、原水硬度55mg/L、原水シリカ濃度20mg/L、原水総塩素0.5mg/Lを基準としています。基準以上の場合は、一部仕様を変更する場合があります。

*製品の仕様及び外観は、予告なく変更することがあります。

*各重量は参考値です。この数値を保証するものではありません。